

第2学年道徳学習指導案

平成 年 月 日() 校時
 中学校2年4組(40名)
 授業者
 指導教諭

1. 主題名 理想の実現 【1 - (4) 理想の実現】

2. 資料名 山路孝重/道徳教育推進指導資料(指導の手引5)『中学校 真理や学ぶことを愛する心を育てる』文部省(現在の文部科学省)

3. 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

自分の人生をかけて実現すべきものを見つけ、その理想に向かって探究心を持って努力し続けることが、人生を豊かにすることである。自分の将来について前向きに考えながらも、目の前にあるものと誠実に向き合い、目標を持って生活する姿勢を持たせたい。

(2) 価値に関わる生徒の実態について

自分の卒業後の進路や将来の夢について考えてはいるが、今すべきことになかなか結びつかず、積極的な行動ができないまま生活してしまいがちである。また、理想が高すぎて無理だとあきらめてしまうこともあり、自分が生きている価値そのものを否定してしまうこともある。

(3) 資料について

自分の家業であるパン屋を手伝いながらも修行に熱が入らない主人公が、あるお客さんの思いがきっかけでパン屋の仕事の魅力に気付く。地道に努力することの大切さやすばらしさについて考えさせる。

4. 特別支援生徒への支援

フラッシュカードを準備し、視覚的にとらえやすいようにする。

5. 本時のねらい

常に目標を持って生きることが人生を豊かにすると理解し、目の前にあることに誠実に向き合い、努力しようとする態度を育てる。

6. 本時の内容

	学習活動・主な活動	予想される生徒の思い	教師の支援と評価
導入	① なりたい職業アンケートの結果を見る。 ・事前にアンケートをとっておき、導入で結果を発表する。	・プロ野球選手、歌手、学校の先生、美容師、警察官など。	・フラッシュカードを掲示し、資料への関心を高める。
展開 前段	② 資料前半(166ページ18行目まで)を読む。 ○主人公は、ロックバンドとパン屋の仕事はどう思っているのか。また、主人公が、パン屋の修行に身が入らないのはどうしてだろうか。	ロックバンド・・かっこいい、自分の好きなこと、趣味を仕事にしたいなど。 パン屋・・おもしろくないと思っている、朝からかったるいと思っている、地味な仕事と思っているなど。	・文章中の言葉を用いた意見だけでなく、想像力を働かせて、多様な意見を引き出したい。 ・この後の主人公の気持ちの変化に気付かせるために、初めの気持ちを押さえておく。
展開 後段	③ 資料後半を読む。 ○主人公は父の姿勢や長谷川さんのおじいさんの出来事から、「仕事」というものについて、どのようなことがわかったのか。 ○主人公は、これからどのように仕事に向き合っていくだろうか。	・目立たない仕事でも、お客さんが喜んでくれるという喜び、どんな仕事でも、地道に一生懸命打ち込むことが大切など。 ・父のこだわりを受け継いで、父のようなパン屋になろうと努力する、仕事が楽しくなって、早起きを続けるなど。	・主人公の仕事への価値観に変化があったことを理解させたい。 ・主人公が、仕事に対して積極的に取り組み、いきいきと働く姿を想像させたい。
終末	④ 今回の授業で、考えたこと、学んだことを書く。	・11月の職場体験に向けて、どんな仕事についても頑張ろうという気持ちなど。	・決意表明にならないようにする。